

学院部「仏教要論」上野隆平

本講義では仏教の開祖である釈尊の生涯をたどりながら、その教えの本質と展開を学びます。

まず、釈尊が何を問題として出家し、どのような修行を経てさとりに至ったのかを理解するために、仏伝に即して十二縁起、四聖諦、五蘊などの初期仏教の重要な教理を丁寧に紹介します。さらに、釈尊滅後の教団分裂の経緯とともに、釈尊の教えがいかに多様化、展開していったのかを概観します。

講義の導入として、毎回、『ダンマパダ』を少しずつ読み進め、釈尊の素朴な教えに触れる時間を持ちます。講義資料は講義時に適宜配布し（特定の教科書は用いません）、初学の方でも仏教の基本を体系的に把握できるような内容を目指します。自身の生き方にも関わる仏教の智慧を、歴史と教理の両面から学んでいければと思っています。

・今枝由郎訳『ダンマパダ Buddha 真理の言葉』光文社文庫、¥740（税別）